

原発の経済性と

「容量市場・長期脱炭素電源オークション」

主催：関西消費者団体連絡懇談会

(安全食品連絡会、コンシューマーズ京都、滋賀県生活協同組合連合会、全大阪消費者団体連絡会、奈良県生活協同組合連合会)

関西電力が、美浜原発の後継機の新設に向けた自主的な現地調査を再開することを発表しました。

同時に、「後継機設置の判断にあたっては、本調査の結果に加え、革新軽水炉の開発状況や規制の方針、さらに投資判断を行う上での事業環境整備の状況を総合的に考慮する必要があります。そのため、本調査の結果のみをもって後継機設置を判断するものではありません。」としています。

ここで、「投資判断を行う上での事業環境整備」を担う現行制度が、「容量市場・長期脱炭素電源オークション」です。

その仕組みと狙いについて、複雑な仕組みを読み解き、正しく理解することをメインテーマとして学習会を開催します。

日時	プログラム	Zoomでの講演
9月19日(金) 13:00～16:00	13:00～15:00 原発の経済性と「容量市場・長期脱炭素電源オークション」の仕組み (15:00～15:10 休憩) 15:10～16:00 美浜後継機新設の問題点	原子力 資料情報室 事務局長 松久保肇さん 

参加申込み Zoom 100名・大阪消団連会議室 10名

・ Webフォーム または下記のFAX参加申込

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/71987fc2861551> →



※申込者には開催2日前までに参加方法等をお知らせします。

・web参加の方はzoomを使用できる端末とインターネット接続環境をご自身でご用意ください。

FAX参加申込 (大阪消団連 fax.06-6941-5699)

団体名 (個人の方は記入不要) :

* 必須 お名前	* 必須 参加方法選択	* 必須 連絡先メールアドレス (お持ちでない方は連絡先電話番号)
	Zoom・会場	